

インタビューから見てきたナガハシ印刷株式会社の在り方

今回のインタビューから、インターネットで調べただけでは分からなかった、ナガハシ印刷株式会社のSDGs活動及びSDGsに対する考えが見えてきました。

例えば...

<インターネットで調べて分かったこと>

・食を食べる道具から支援していく。
・世界中に食べ物がいきわたるよう間接的に支援していく。

・社内で発生した紙資源を古紙回収し、再生紙にする。
・富士山の清掃活動に参加している。

<インタビューをとおして分かったこと>

・社内には農園があり、自分たちで野菜を作り、シェアしている。
・紙製の植木鉢やレシピ本など印刷業の強みを生かしたのを作りたいという思い。

・リサイクルしたもののうち実際に使えるのは80%ほど。
・最大限紙を利用できるようチラシなどを印刷した際の余白もパッケージなどとして再利用している。

上記の例は一部であり、他にも、SDGs活動を通しての変化として「社員一人一人がなぜ？と考えて行動するようになった」、「IT導入による残業の削減と効率化のアップ」などといったことも知ることができました。

そして、今回のインタビューから私たちはある結論にたどり着きました。それは...

「ナガハシ印刷株式会社は環境と働く人にとっても配慮している。」

ということです。まず環境についてですが、富士山の清掃活動もそうですし、なによりも、紙の生産は森林を破壊し、地球温暖化を進めていると言われがちなのを、それをまかなうように木を植え二酸化炭素の排出量をプラマイゼロにしているという点です。これを知り、紙に対するイメージが変わりました。次に働く人ですが、もともと残業が多く、特に女性が働きにくい業種でしたが、ITの導入で残業が減り、年間休日も増えたそうです。また、社員に良い刺激を与え、そこから新たなアイデアが生みだすために、スタバやマックなどの社外で会議をしたり、ジェンダーレスの前段階として女子企画チームを作ったりと社員が働きやすい環境づくりを進めていることが分かりました。社員ののためにやったことが、新しいアイデア・企画となって会社に還元されるという、良いサイクルができているということに気づきました。

おすすめ商品

・いいかげんノート ¥330 税込 お調子者の「いいかげん」と「良い加減」の二つの意味が掛けられたノートです。他のノートにはみられない「手書き風の線」が特徴的です。
・静岡おでん ひとことカード ¥440 税込 静岡のお土産になるものを販売しよう！という思いのもと、静岡市役所や地元の料理学校とコラボして生まれました。



ナガハシ印刷株式会社

〒421-0115

静岡県静岡市駿河区みずほ1丁目35-3



Instagram



オンラインショップ

ナガハシ印刷株式会社 × SDGs



ナガハシ印刷株式会社とは？



1, こんなことをしている企業

ナガハシ印刷株式会社は印刷物やのぼり旗の作成、翻訳対応も行うほかオリジナル商品の開発も行い、より豊かな生活を積極的に提案している会社です。地域とのかかわりの中で富士山の清掃活動や3-ringsとよばれる三保の松原の清掃も行っています。

2, 主に取り組んでいるSDGsの目標

②の飢餓をゼロに、③のすべての人に健康と福祉を、④の質の高い教育をみんなに、⑯のパートナーシップで目標を達成しようという項目に主に取り組んでいて中でもパートナーシップを重要視しているそうです。SDGsの目標は一人ではどうにかできるものではなく会社全体、地域の方、他の企業様との協力が目標の達成につながります。

まず、1で挙げた地域の環境活動では印刷業の会社だけではなく他分野の企業とも出会うことができます。活動の中で出会った企業、日々の業務の中で関わる企業みんながナガハシ印刷さんにとって大切なパートナーになります。

他にも、ナガハシ印刷さんはSDGsにあらゆる方法で協力できそうな商品の開発を行っています。例えば、プラスチックごみを減らすため、プラスチックの袋ではなく紙袋を使うようにするといった活動をしているそうです。お客様となる企業の中にもSDGsの活動に熱心な方が多いそうで、ナガハシ印刷さんの活動に目をつけて依頼してくれる方もいらっしゃるそうです。この場合は、商品を売り込む相手であるお客さんも大切なパートナーだといえます。

静岡県立大学 × しずおか焼津信用金庫
令和3年度 SDGs学生インタビュー企画



しずおか焼津信用金庫
キャラクター「たねココ」

環境に配慮した取り組み



紙はエコ！

実は紙はとてもエコで、SDGs に最も近い素材です。

その理由は...紙を作るときに二酸化炭素量が±0 になるような仕組みがあるから。

紙を作るには、木を伐採する必要があります。ただやみくもに伐採していたら紙を作ると、空気中の二酸化炭素量は増えていく一方ですね...

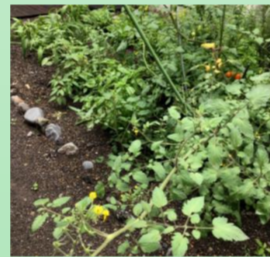
しかし今は、紙を生産する際に出る二酸化炭素の量を計算し、それを光合成によってまかなえる数の木を植えて、結果として二酸化炭素の量が±0 になるようにする仕組みがあります。

紙は最大限利用

そのほかにも、紙をリサイクルすることもできますよね。実は紙のリサイクルは他のものよりリサイクル率が圧倒的に高く、約 80%もリサイクルできます。ナガハシ印刷株式会社でも、リサイクルに力をいれています。さらに加えて、最大限紙を利用できるよう、チラシやパンフレットを印刷した余白もパッケージなどに利用しています。

その他にも...

三保松原の清掃活動を行う団体（いくつかの企業からなる団体）に参加し、実際に社員が清掃活動に参加しています。



働く人に配慮した取り組み

社内に〇〇がある！？



今回、インタビューを進めていく中でナガハシ印刷様の社内には SDGs 活動にも関わるものがあることが分かりました。それは...**農園**です！最初に聞いたときは、「なぜ印刷会社が農園を？」と思いましたがそこには理由がありました。

理由①：食料がないと生きていけない。

これは、SDGs の 17 の目標の中の 2 番「飢餓をゼロに」にも関わってきます。人は食べ物がなくて生きていけません。そこで、まずは社員の食生活を確保することから始めたそうです。

理由②：関係していないようで実は関係している。

農業と印刷業一見関係ないように見えますが、実は繋がっていました。例えば、作物を作るための道具やキッチン用具を紙で作る、具体的なビジョンは、紙製の植木鉢などです。また、現在は無いようですが、オフィスにキッチンができれば、社食がてらみんなで作って、そこから印刷業という強みを生かしてレシピ本なども作成したいと仰っていました。

理由③：社員へ刺激を。

農園で野菜を育て、自然のものに触れることは、社員に良い刺激を与えてくれるそうです。例えば、創作意欲を掻き立て、新たなアイデアが生まれる、などといったことです。

農業を、作物を育てるための道具や、採れたものを調理するための用具などという点から支援しており、農業と印刷業の意外な接点が見えてきました。また、自分たちで作った野菜を自分たちで食べることで、社員の福利厚生を促進、そして地産地消にも貢献していることが分かりました。

ジェンダー平等実現に向けて



元々印刷業界は男性社会だったこともあり、女性の方が活躍しづらい環境にありました。そのため、いきなり全てを変えていくのは難しく、衝突の懸念が生じます。そこで、ナガハシ印刷株式会社様は、段階的なステップを踏んでいくことにしました。

- ① 女性企画チームの前進 Coaster Book の開発
- ② 女性企画チーム いいかげんシリーズの開発

将来的には真の男女平等
を目指していく

また、産休・育休にも配慮を行っています。コロナ禍では、妊娠中の女性社員を完全在宅ワークへ切り替えの誘導をしました。さらに、将来的には社内に授乳スペースを設置することを考えています。

残業削減への取り組み

元々残業の多い広告業界ですが...

ナガハシ印刷株式会社では、技術改革や設備投資を実施。その結果、以前は年間で休日が 90 日、平均残業時間は 40 時間だったものが年間で休日 120 日、平均残業時間 10 時間まで削減に成功しています！

具体的にどのように技術改革や設備投資をしたのかというと...

第一段階

機械を買うだけでできるもの

- 新しいパソコンに換える
- 2 画面のパソコンを使用
- 外出する社員にはタブレット端末を持たせる

第二段階

使い方を覚えることでできるもの

- オンラインで集めたデータやデザインをデータベース化して共有

残業が減って余暇を楽しむ時間が増えたことで新たな商品開発にもつながりました！



オフィスの外でミーティング!?

スタバやマクドナルドなどのテラス席で作業をする機会がある

→気分転換だけでなく、新しい製品を製造するためのチャンスにもなる。

なぜ必要???

- ① **顧客の目線**に立つことができる
 - 実際に自らが顧客の位置から眺めることで見つかるアイデアを重視
- ② スタバの紙ストローなどの**時代の流行**を発見し、アイデアの参考に
- ③ 町の中にある広告を見て、自社ならこうするといったインスピレーションが生まれる場になる



https://preview.aflo.com/uNsO98QQNpnE/aflo_143344927.jpg